

モジャコ情報 No.1

平成30年5月2日
和歌山県水産試験場

調査日：2018年4月23日（沿岸定線：潮岬～江須崎）

調査船名：きのくに

調査海域：潮岬（2～10マイル）～熊野灘南部（2～10マイル）の沿岸（沿岸定線）

.....**調査結果の特徴**.....

1. 調査時の黒潮は、室戸岬～潮岬で離岸、熊野灘から大きく蛇行している。
2. 調査海域の表面水温は17℃台～19℃で、潮岬10マイルは19.0℃、熊野灘南部は17～18℃台である。
3. 流れ藻の採集は、熊野灘南部の檜野崎10マイル～梶取崎10マイルの途中で4個を採集した。
4. モジャコの付着状況は、採集した4個すべてにみられ、合計12尾である。
5. モジャコのサイズ（FL）は、18.8～68.0mmで平均43.6mm、昨年同期よりやや大型である。

.....

[海況]

4月23日の関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬～潮岬で離岸、熊野灘から大きく蛇行し、遠州灘沖で31°N以南に達している。紀南沿岸域では、市江～すさみ沿岸は18℃台の暖水に覆われる。水道内は14～15℃台である。熊野灘南部は17～18℃台である。

調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は17℃台～19℃台で、潮岬10マイルは19.0℃、熊野灘南部は17～18℃台である。

[流れ藻の分布状況]

今回の調査では、熊野灘南部の檜野崎10マイル～梶取崎10マイルの途中で4個を採集した。

[モジャコの付着状況と体長組成]

今回の調査では採集した4個すべてにモジャコの付着が確認できた。付着数は合計12尾である。流れ藻1個あたり平均3.0尾で、昨年の平均9.7尾より少ない。

魚体の大きさ（FL）は、18.8～68.0mmで平均43.6mmであり、昨年の20.5mmよりやや大型で、昨年付着の確認できた70.0mm以上の大型魚はなかった。採集した流れ藻の大きさは、1.0m×1.0m～2.0m×2.0mで、昨年よりやや小さい。

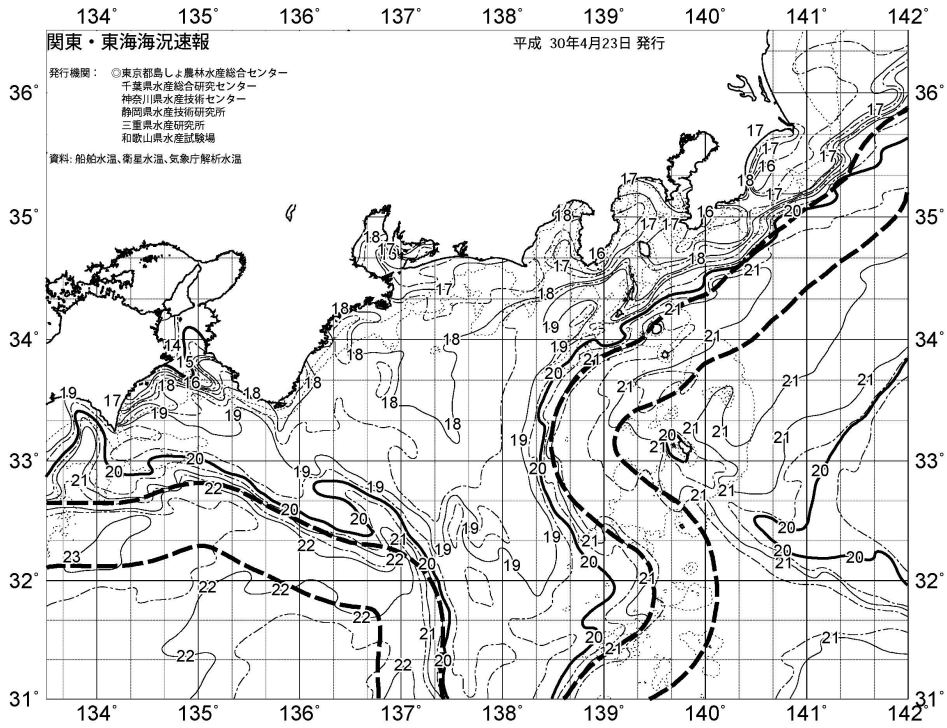


図1 2018年4月23日の関東東海海況図

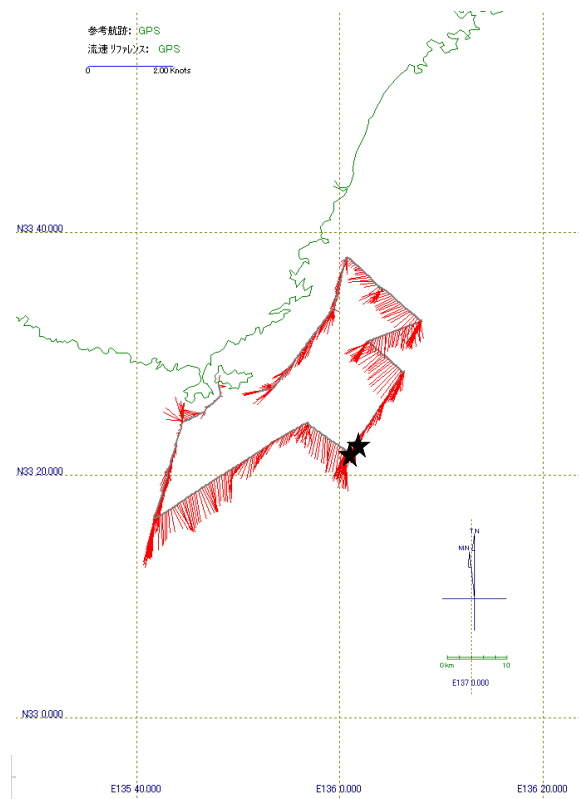


図2 2018年4月23日の調査航跡および表層（17m）の流向流速
★流れ藻の採集

表1 流れ藻の採集状況 (2018/04/23)

NO.	月日	時間	緯度	経度	水温℃	藻の大きさ	魚種・個体数
1	4月23日	12:28	33° 22.8' N	136° 01.6' E	18.3	2.0m×2.0m	ブリ7、メバル1、ホラ1
2	4月23日	12:35	33° 22.8' N	136° 01.5' E	18.3	1.0m×1.0m	ブリ2、メジナ3
3	4月23日	12:38	33° 22.7' N	136° 01.5' E	18.6	1.0m×1.0m	ブリ1
4	4月23日	12:41	33° 22.7' N	136° 01.5' E	18.4	1.0m×1.0m	ブリ2

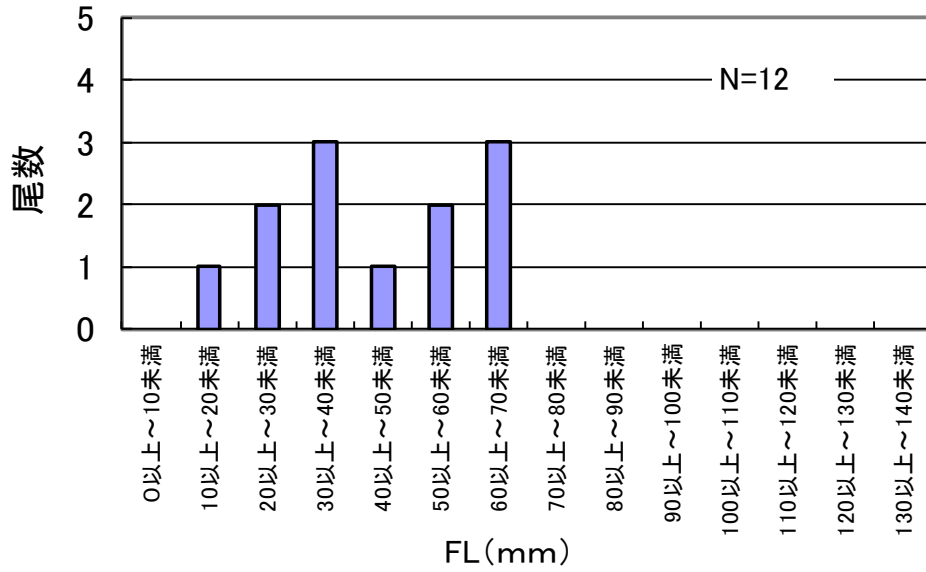


図3 モジヤコのFL組成 2018/04/23